



令和3年度入試につきましては、新型コロナウイルス感染症禍等の状況により、今後変更を行うことがあります。
その際には、本学ホームページに掲載しますのでご確認いただきますようお願いいたします。

令和3年度 尚経大学・尚経大学短期大学部入試日程

【総合型選抜】

実施学部・学科／【大学】現代文化学部文化コミュニケーション学科 【短期大学部】総合生活学科、食物栄養学科、幼児教育学科

入試区分	エントリー	体験授業 面接日	結果連絡	出願期間	合格発表	入学手続期限	
						入学金	書類
〈第1回〉	令和2年9月15日(火)～9月28日(月)	10月11日(日)	10月14日(水)	令和2年10月19日(月)～10月26日(月)	11月2日(月)	11月16日(月)	
〈第2回〉	令和2年12月1日(火)～12月11日(金)	12月19日(土)	12月25日(金)	令和3年1月4日(月)～1月15日(金)	1月29日(金)	3月3日(水)	

【学校推薦型選抜】（併設校・指定校・一般）

実施学部・学科	出願期間	選考日	合格発表	入学手続期限	
				入学金	書類
現代文化学部、生活科学部	令和2年11月2日(月)～11月12日(木)	11月21日(土)	12月1日(火)	12月15日(火)	
総合生活学科、食物栄養学科、幼児教育学科	令和2年11月2日(月)～11月12日(木)	11月22日(日)	12月1日(火)	12月15日(火)	
全学部・学科(地方試験) ※福岡市・宮崎市・鹿児島市	令和2年11月2日(月)～11月6日(金)	11月14日(土)	12月1日(火)	12月15日(火)	

【社会人選抜】

実施学部・学科	出願期間	選考日	合格発表	入学手続期限	
				入学金	書類
現代文化学部、生活科学部	令和2年11月2日(月)～11月12日(木)	11月21日(土)	12月1日(火)	12月15日(火)	
総合生活学科、食物栄養学科、幼児教育学科	令和2年11月2日(月)～11月12日(木)	11月22日(日)	12月1日(火)	12月15日(火)	

【外国人留学生選抜】

実施学部・学科	出願期間	選考日	合格発表	入学手続期限	
				入学金	書類
現代文化学部、生活科学部	令和2年11月2日(月)～11月12日(木)	11月21日(土)	12月1日(火)	12月15日(火)	
総合生活学科、食物栄養学科、幼児教育学科	令和2年11月2日(月)～11月12日(木)	11月22日(日)	12月1日(火)	12月15日(火)	

《取得免許、資格》

現代文化学部 文化コミュニケーション学科／司書、社会調査士、プレゼンテーション実務士、観光実務士、日本語教師（大学認定）

生活科学部 栄養科学科／栄養士免許、管理栄養士国家試験受験資格、栄養教諭一種免許状、食品衛生監視員（任用資格）、食品衛生管理者（任用資格）、フードサイエンティスト

短期大学部 総合生活学科／秘書士、上級秘書士（メディカル秘書）、情報処理士、社会福祉主事（任用資格）、介護職員初任者研修課程資格、レクリエーションインストラクター、食生活製菓マスター（仮称・大学認定）

食物栄養学科／栄養士免許、食品衛生監視員（任用資格）、食品衛生管理者（任用資格）、フードサイエンティスト、社会福祉主事（任用資格）、栄養製菓マスター（大学認定）

幼児教育学科／幼稚園教諭二種免許状、保育士資格、社会福祉主事（任用資格）

尚経大学 尚経大学短期大学部 尚経・キャンパスリサーチ 〈第1回〉8月2日(日) 〈第2回〉8月30日(日)

【問い合わせ先】 尚経大学・尚経大学短期大学部入試センター 〒862-8678 熊本市中央区九品寺2丁目6-78 TEL.096-273-6300 FAX.096-273-6781

尚経中学校 ミニ学校説明会 9:30～
〈第1回〉8月8日(土) 〈第2回〉8月23日(日)
尚経高等学校 オープンスクール 9:30～
〈第1回〉9月6日(日) 〈第2回〉10月3日(土)

※個別の学校案内、web個別相談は
ホームページから随時申込可能です。
※各日とも出来るだけ1週間前までにホームページより
お申し込みください。
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止または
変更の場合があります。変更についての詳細は本校
ホームページでお知らせ致します。

後塞 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響を受け慌ただしい1年が始まった。熊本県内においても緊急事態宣言が発令され、尚経学園は通常授業・行事等の中止、登校・登園自粛を行った。学生・生徒の声がない学園はどこか寂しさを覚える。以前のような学園全体に学生達のにぎやかな声が響く日常に1日でも早くなるよう、心より願うばかりである。
(M.O.)

○皆様のご意見・ご感想をお寄せください。編集・発行/尚経学園 編集スタッフ/黒瀬英夫、新納ゆりか、増本紗希、堀部梨咲子、緒方将人、山下亜美
〒862-8678 熊本市中央区九品寺2丁目6-78 TEL.096-364-0116 FAX.096-363-6520 メールアドレス koho@shokei-gakuen.ac.jp

尚経大学・
尚経大学短期大学部
ホームページ



尚経中学・
尚経高等学校
ホームページ



LINE 尚経大学・尚経大学短期大学部
LINE
入試情報や尚経・キャンパスリサーチ情報など本学に
関するさまざまな最新情報をLINEでお届けします。
ぜひ友だち登録をしてください。



ID : @shokei-univ



学校法人
尚経学園

SHOKEI

熊本市中央区九品寺2-6-78 TEL.096-364-0116

尚経学園

検索

尚経大学 尚経大学短期大学部
尚経高等学校 尚経中学校（中高一貫）
幼保連携型認定こども園
尚経大学短期大学部附属こども園

基礎

ISHIZUE

尚経学園広報誌

2020年 春夏号
Vol.33



尚経学園キャラクター
「花くま」



Vol.33 CONTENTS

特集 学長・校長・園長紹介、新任教職員紹介	P1 - P2
イベントリポート・INFORMATION	P3 - P4
新型コロナウイルス感染症への対策	P5
寄附者芳名録、古本募金	P6
令和元年度決算の概要と事業報告	P7 - P9
令和2年度事業計画	P10





尚絅大学・尚絅大学短期大学部 学長 山縣 ゆり子

プロフィール

昭和27(1952)年、兵庫県赤穂郡生まれ。大阪大学薬学部卒業後、昭和55年大阪大学大学院薬学研究科博士課程修了(薬学博士)。昭和61年大阪大学薬学部助手、助教授を経て、平成13年より熊本大学大学院薬学研究科、医学薬学研究部、生命科学研究部の教授を務め、平成25年4月から4年間熊本大学副学長(男女共同参画担当)を経て、平成30年3月熊本大学を定年退職。平成30年4月熊本大学名誉教授。平成元年8月から1年間カリフォルニア大学バークレー校客員研究員。平成18年10月から現在まで日本学術会議連携会員。令和2年4月、本学学長に就任。専門は構造生物学、蛋白質科学。

ー 就任にあたっての心境と尚絅大学の印象について お聞かせ下さい。

130年以上の歴史と伝統のある尚絅学園により設置された女性の高等教育機関の学長に就任しましたことは大変光栄に思いますとともに、その使命と責任の重さに身が引き締まる思いで一杯です。教職員、学生のみなさんの学園や大学への思いを感じることを心掛けたいと思っております。教職員のみなさんはとても親切でにこやかに、そして適確に仕事をされています。新型コロナウイルス感染症の拡大のため、就任以後、学生さんの姿を見ることも、まして話をする機会もほとんどありませんでしたが、私がそれぞれ1回遠隔授業で担当した基礎セミナーや熊本学の課題の提出状況や学生さんとの対話から、真摯に学ぼうとする姿勢が感じられうれしく思っています。

ー 132年の歴史を持つ尚絅学園が果たすべき役割についてお聞かせ下さい。

これまで多くの活躍する女性を地域社会に送り出してきた歴史と伝統をもち、さらに史上はじめての少子高齢化社会を迎えていた我が国における女性の高等教育機関としての役割は非常に大きいものがあります。現代社会は多様な人材が求められており、女性の活躍について益々期待が高まっているなか、我が国のジェンダー・ギャップ(男女格差)指数は国際的にみて

不十分です。本学園の建学の精神「智と徳を兼ね備え社会に貢献し得る女性の育成」と教育理念「尚絅 表面を飾らず内面の充実に努める」に基づき、生涯にわたって研鑽を重ね、人間性を尊重し社会に貢献する女性を育成することが描るぎのない本学園の役割だと考えております。

ー 学生に望むことや、励ましのメッセージをお願いします！

基礎セミナーで、4年間または2年間の目標と抱負をCOMPASS 2020の7ページに記載したことと思います。日々、特に、苦しいときやどうしたらいいか迷ったときなどにそれを読み直してみてください。本学園の建学の精神や教育理念、それに則った本学の使命・目的は、学生生活の大きな支えになってくれます。私は、何かにつけ、考えたことや行ったことなどをメモしていますが、何かの時、それを読み直して、こんな楽しいことを考えていたんだと微笑んだり、何とかなるんだとちょっとなくしていただ自信を取り戻したりしています。みなさんもがんばったことや楽しかったことを大切にしてください。最後に、今、世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染拡大に対して、正しく立ち向かいましょう。

山縣ゆり子学長の素顔に迫る ずばり突撃！ 山縣学長ってこんな人！

Q. 趣味は？

A. 音楽や演劇鑑賞です。県立劇場が徒歩圏内なので手軽に行けて楽しめます。一日も早い新型コロナウイルス感染症の拡大が収まるることを願っています。

Q. 好きな言葉は？

A. 繼続は力なりですね。今あるのは仕事を辞めずに続けていたからだと思っています。

Q. 好きな季節は？

A. 春、特に新緑と色とりどりの花を見るのが好きです。

Q. 好きな食べ物は？

A. 新鮮なものなら何でもおいしくいただいています。

Q. 休日の過ごし方は？

A. 食料や日用品の買い物は必須です。また、オンライン(Skype)による家族とのコミュニケーションも欠かせません。新聞や生命科学分野の研究論文もじっくり読めるので楽しんでいます。



校長紹介

尚絅中学校 尚絅高等学校

はた

秦 すみ子 校長 平成30年4月就任



【プロフィール】

- 趣味 海外旅行・占い
- 好きな言葉 凛として 花一輪
- 好きな季節 春
- 好きな食べ物 スイーツ フルーツ
- 休日の過ごし方 料理(自粛期間にトライする時間が増えました)、掃除、癒しの音楽鑑賞

園長紹介

幼保連携型認定こども園 尚絅大学短期大学部附属こども園

ごとう かいぞう

五嶋 改藏 園長 平成31年4月就任



【プロフィール】

- 趣味 ゴルフで身体機能を維持・向上しつつ、弱い自分の心に打ち勝つように鍛えることが趣味です。小さな庭で花と野菜を育て、鳥骨飼を10羽ほど飼っています。
- 好きな言葉 「志」「仕事を通じて人生を楽しめ成長し、世のため人のためにつくすこと」「うれしい、ありがとうございます、がんばります」
- 好きな季節 5月生まれですので、「五月晴れ」のさわやかな風が吹くころが好きです。
- 好きな食べ物 毎朝の「GOTOブレンド」を紹介しましょう。コップに豆乳を6割、飴分・Cal強化牛乳を4割入れ、青汁の粉と抹茶と黒ゴマの混合粉と蜂蜜を入れて飲んでいます。帰宅後のビールと刺身も何より楽しみです。
- 休日の過ごし方 ゴルフはコロナで休止中(2~6月)。孫たちと遊び成長を感じるのが楽しめです。自治会や青少協、ブレイバーグなど長嶺町のみなさんとも一緒に楽しんでいます。

132年の歴史を持つ尚絅学園が果たすべき役割とは

現在、世界は誰も経験したことがない大きな試練をむかえています。その不安は、人種や社会的地位を超えて広がっています。自分さえ良ければ、自分の国さえ良ければといった考えは通用しません。今後、そのような世界で生きていく若者を育てるには、130年以上の歴史に裏打ちされた「建学の精神」を念頭においた指導こそが、本学園が果たすべき役割に繋がっていくと考えています。

生徒に望むことや励ましのお言葉(生徒へのメッセージ)

昨今は、即戦力にならない文学や哲学より実学を重視する傾向があるようを感じています。デジタル社会において確かにスキルも大事ですが、人間関係を円滑にして生活や仕事の質を向上させるためには、他者に対する思いやりや気配り、想像力と創造性、それに美的センスなど人ならではの物事を感じる力、つまり「感性」を磨くことこそが重要となります。感性は、物事を深く考え、深く見ることによって磨かれます。人生は見たり、聞いたり、試したりが大事です。経験を通して知識は初めて実践的な知恵に変わります。失敗を恐れず、まず挑戦すること。その経験を通して中学・高校時代に、そのみずみずしい感性を磨いてください。

新任教職員紹介

■ 尚絅大学・尚絅大学短期大学部
山縣 ゆり子(学長)■ 尚絅大学現代文化学部／文化コミュニケーション学科
柳田 紀代子(教授)

■ 尚絅大学生活科学部／栄養科学科

今村 隆寿(教授)
實松 史幸(准教授)
野中 里佐(准教授)

■ 尚絅中学・高等学校
本田 孝廣(中学部長)■ 尚絅大学短期大学部附属こども園
福留 衣織(保育教諭)■ 尚絅大学／九品寺キャンパス
岩崎 かおり(職員)

井上 裕介(中高事務室事務長)
栗崎 敬一(入試アドバイザー)

■ 尚絅大学短期大学部附属こども園
渡辺 展枝(保育教諭)■ 尚絅大学／武蔵ヶ丘キャンパス
牟田 紗子(職員)■ 尚絅大学／武蔵ヶ丘キャンパス
牟田 紗子(職員)

(令和2年4月1日現在)

山縣学長のとある一日

スケジュール

A M	7:00	起床、掃除、洗濯、朝食など
	9:00	大学へ、本日の予定や近日中の締切事項の確認、メールのチェック
10:00	常勤理事会	
P M	12:00	お昼の休憩
	13:00	先生とのセンターに関する打合せ 決裁や書類の確認など事務的仕事
16:00	講義準備(もしくは締切の原稿書きなど)	
P M	18:00	帰宅 食事準備・食事・入浴・本日のニュース メールのチェック・明日の資料の確認など
	24:00	睡眠



尚絅大学 尚絅大学短期大学部

入学式中止

令和2年度尚絅大学・尚絅大学短期大学部の入学式を4月3日(金)に行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症が国内外で拡大している状況を鑑み、新入生・保護者・来賓・教職員の安全を第一に考え、やむなく中止することとなりました。本年度は大学:128名、大学編入学生:11名、短期大学部:292名が新たなスタートを切りました。

尚絅中学校 尚絅高等学校

修学旅行

2月18日(水)～2月22日(土)の日程で関東・関西・台湾・シンガポール4コースで行いました。異文化体験、スキー研修、英語を使った交流等を通してそれぞれのコースで貴重な体験ができ、充実した修学旅行となりました。



入学式

今年度は中学生27名、高校生209名を新入生として迎えました。新型コロナウイルス感染防止の観点から短縮した形式となりましたが、当時は天候に恵まれ、中学校、高等学校それぞれの新入生代表の素晴らしい宣誓もあり、心に残る入学式となりました。



尚絅大学短期大学部附属こども園

令和2年度の入園式を行いました。

4月14日(火)に令和2年度の入園式を行いました。園児にとって一生に一度の喜びと希望の機会にしたいという想いでいた。新入園児94名、昨年度の途中入園児2名、あわせて96名とその保護者が出席しました。今年度は、コロナウイルス感染拡大防止のため、開催自体が危ぶまれる状況でしたが、座席間隔を広くしたり、換気、マスク、消毒等、感染に注意しながら、式の内容を園長祝辞と教員紹介だけにして短時間で終了しました。写真撮影もクラス集合写真をやめご家族毎の写真に変えました。

さっそく遊具で遊んでみたりして、こども園での生活のスタートを楽しんでいる様子でした。親子の喜びの姿を見ると、ホッとすると同時に、入園式を挙行できた喜びと感謝の気持ちでいっぱいでした。



現代文化学部移転に伴う大学7号館建設工事の安全祈願祭を執り行いました。

令和2年度の現代文化学部の九品寺キャンパス移転に伴い、大学7号館を建設しています。令和元年12月24日(火)、九品寺キャンパス大学7号館建設地内において、藤崎八幡宮より神主様をお招きし、安全祈願祭が執り行われました。約1年間にわたる建設工事の安全と無事を祈願しました。

令和2年5月末現在、2階躯体工事に着手しており、令和3年1月末の竣工・引き渡しに向けて工事が、着々と進んでいます。

学生の新たな学び舎となる大学7号館の完成を教職員一同心待ちにしています。



高校卒業式

本年度は新型コロナ感染防止の観点から、例年より規模を縮小した形で挙行しました。保護者の皆様と学校関係者に見守られ、厳かで温かい雰囲気の卒業式となりました。式後は例年より短い時間で各クラスで最後のLHRが行われ、卒業生204名は名残を惜しみながら学舎を旅立ちました。



【英語ディベート大会】 全国大会に出場しました。

12月25、26日に群馬県で行われた「第14回 全国高校生英語ディベート大会in群馬」に一貫高2の井島菜摘さん、吉田明華さん、藤本芽生さん、一貫高1の佐伯あやのさん、平川陽花梨さん、相場和音さんが参加しました。高いレベルの試合を通して、多くの刺激を受けながら最後まで自分たちの英語力を磨きつづけることができました。



尚絅食育研究センター

第2回尚絅食育推進シンポジウムを開催しました。



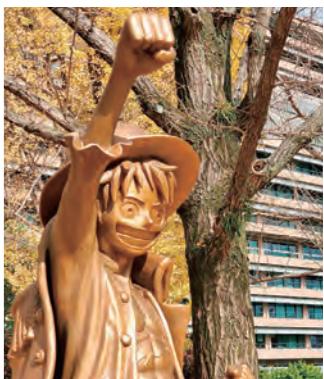
「第2回尚絅食育推進シンポジウム こどもの嗜む力・飲みこむ力を育む」が、令和2年1月12日(日)九品寺キャンパス大学1号館10階ホールにおいて開催されました。

昨年に続き2回目の開催となる本年は、「こどもの嗜む力・飲みこむ力を育む」をテーマに、保育関係者、栄養士・給食関係者、行政関係者、歯科衛生士等の多数の皆様のご参加のもと、嗜むこと、飲みこむことの大切さについて一層の理解を深めたシンポジウムとなりました。

尚絅地域連携推進センター

ルフィ像訪問者への調査を行いました。

熊本県との共同プロジェクトとして「ルフィ像の設置によってもたらされた経済効果」に関するアンケート調査・分析を行いました。調査は現代文化学部の学生が担当し、2019年10月から2020年1月の3か月間にかけて計4回行われました。調査では、ルフィ像訪問者数の計測に加えて、訪問者に対する消費行動についてのアンケートを行いました。この調査の模様は、熊本日日新聞、読売新聞、RKK熊本放送など各種メディアに取り上げられました。



尚絅大学・尚絅短期大学部 イベント情報

開催日 8月2日(日)、30日(日)

尚絅・キャンパスリサーチ ～尚絅の学びを探求しよう～

対象：高校3年生および受験年度の希望者とその保護者

申し込み：事前予約制（お申込みが多い場合、参加希望日変更のお願い、もしくはお断りをする場合がございますのでご了承ください。）

内容：学部・学科紹介、入試説明会、キャンパスツアー

（学部・学科の学び等の説明や2021年度入試説明、学内施設紹介を予定しております。）

実施場所：九品寺キャンパス

【大学】 現代文化学部 文化コミュニケーション学科、生活科学部 栄養科学科

【短期大学部】 総合生活学科・食物栄養学科

武藏ヶ丘キャンパス

【短期大学部】 幼児教育学科

詳細はホームページに掲載しますのでそちらをご確認ください。

尚絅中学・尚絅高等学校 イベント情報

ミニ学校説明会・オープンスクール開催

場所：尚絅高等学校

対象：小学生、中学生、保護者、教職員

内容：ミニ学校説明会…学校説明、校舎見学、個別相談

オープンスクール…生徒による学校・部活動紹介、校舎見学等

参加ご希望の方は、本校ホームページより直接お申し込みください。

※個別の学校案内、web個別相談はホームページから随時申込可能です。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止または変更の場合があります。

変更についての詳細は本校ホームページでお知らせ致します。

ミニ学校説明会 9:30～

（第1回）8月8日(土) （第2回）8月23日(日)

オープンスクール 9:30～

（第1回）9月6日(日) （第2回）10月3日(土)

ナイト説明会 18:30～

（第1回）10月16日(金) （第2回）12月4日(金)

（第3回）12月17日(木)

入試説明会 9:30～

（第1回）11月8日(日) （第2回）11月14日(土)

（第3回）11月28日(土)

尚絅中学校・尚絅高等学校 Web個別相談について

コロナウイルスの影響を考慮し、自宅でも簡単に個別入学相談ができるWeb個別相談を行っております。「Zoom」を使って、本校職員が直接お話をさせていただきます。お一人お一人とじっくりお話をしながら、学校に対する質問や受験の相談などにお応えしていく機会です。保護者の方のみのご参加も大歓迎です。お気軽にお問い合わせください。

尚絅中学校・高等学校 検索



学園の新型コロナウイルス感染症拡大防止への取り組み

この度の新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた方々に、謹んで哀悼の意を表しますとともに、いち早い終息を願っています。

学園全体の動き(赤字は社会の動き)

令和2年1月	中国の湖北省・武漢市で新型コロナウイルス感染症の感染を確認。 全世界に感染が拡大・国内でも感染者を確認
2月 28日	熊本県より中高一齊休校要請 ・学園行事・学校行事等で備蓄マスクを提供 ・衛生委員会による対応を協議・指示 (2/13, 3/12, 4/9, 5/14, 6/11)
3月 11日	熊本県より中高一齊休校延長要請 ・学園・学校施設内設置の消毒液を110ヶ所増設 ・学内コンビニエンスストア・レストランの営業を休止(3/2～) ・ドーミー熊本寮を閉鎖 (3/3～3/27, 4/13～5/31)
4月 6日	熊本県より中高一齊休校延長要請
7日	日本政府より7都府県を対象に新型コロナウイルス特措法に基づく緊急事態宣言の発令
16日	緊急事態宣言の対象地域を全都道府県に拡大 ・新型コロナウイルス感染症に関する特別休暇を制定・施行 ・危機管理委員会を開催し、新型コロナウイルス感染症対策本部を設置 ・如蘭寮の食事提供を休止(4/8～) ・スクールバス・シャトルバスの運行を休止(4/20～5/29) ・全教職員の出勤を7割削減(4/20～5/7) ・ジェットタオルの使用禁止を実施
5月 7日	日本政府より緊急事態宣言を延長の発表
14日	緊急事態宣言が熊本を含めた一部地域で解除
25日	緊急事態宣言の全面解除 ・全教職員の出勤を5割削減(5/8～5/15) ・学生ホールに仕切り板を設置(5/26) ・授業再開に向けて教職員によるエタノール消毒液を用いた一斉消毒開始(5/29～)
6月 1日	大学・短大・中高授業再開

尚絅大学 尚絅大学短期大学部

5月18日(月)遠隔授業開始

大学・短期大学部の新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みとして、政府の緊急事態宣言ならびに熊本県からの休業要請を受けて、学生及び教職員の安全確保を図るため、入学式等のイベントを中止しました。授業においては、5月7日のオリエンテーションをかわきりに順次遠隔授業を実施しました。学生は在宅で大学から提供された教材を活用したり、授業を視聴したりすることで学修を進めました。また、これらの機能を活かし、課題提出や学生へのフィードバックを行うことにより教育効果の向上を図りました。6月からは、休業要請の解除を受け、一部の授業を除き面接授業(通常授業)を再開しました。面接授業の再開に当たり、マスクの着用・手洗い・手指消毒の徹底、3密を避けるために座席の間隔を空けての着席、事務室・教室等の机・椅子など教職員や学生が日常接触する施設・設備・備品の毎日の消毒等を実施しています。今後も様々な感染防止対策に努め、感染拡大防止を心掛けるとともに、万全の教育環境を整備し、学生が安心して授業を受けられるよう、業務運営を行っていきます。



各所属校の動き

令和2年3月	1日 【高校】卒業式(規模縮小・時間短縮) 2日 【中学・高校】休校措置(3/2～3/24) 5日 【こども園】お別れ会中止 12日 【中学・高校】登校日(学年別・時差登校) 17日 【大学・短大】卒業式中止 18日 【中学】卒業式(規模縮小・時間短縮) 【こども園】修了式(規模縮小・時間短縮) 19日 【こども園】終業式・退任式(規模縮小・時間短縮) 22日 【大学・短大】オーブンキャンパス中止 23日 【中学・高校】登校日(学年別・時差登校) 【こども園】新入園児保護者会(規模縮小・時間短縮) 27日 【大学・短大】春季キャリアガイダンス中止
4月	1日 【大学・短大】健康診断実施 2日 【こども園】保護者会(資料配布・提出物のみ) 3日 【大学・短大】入学式中止 6日 【大学・短大】オリエンテーション延期、休校措置(～5/6まで) 7日 【大学・短大】健康診断実施 8日 【中学・高校】始業式を放送で実施(時差登校)、休校措置延長決定(4/9～5/6) 9日 【中学・高校】入学式(規模縮小・時間短縮) 13日 【こども園】始業式中止 14日 【こども園】入園式(規模縮小・時間短縮) 15日 【こども園】登園自粛※305人→50人程度に減少、 どんぐりルームこころこを閉鎖(6月中旬まで) 17日 【中学・高校】登校日(学年別・時差登校) 21日 【こども園】スクールバスの運行を中止(～5/31まで) 22日 【こども園】給食を中止(～5/16まで)、4月・5月の誕生会・ おしゃべり広場を延期
5月	7日 【大学・短大】オリエンテーション延期(5/7～5/15) 【中学・高校】登校日(学年別・時差登校)、休校措置再延長決定(5/8～5/31) 18日 【大学・短大】遠隔授業開始 14日 【中学・高校】登校日(学年別・時差登校) 21日 【中学・高校】登校日(学年別・時差登校) 26日 【中学・高校】登校日(中学生・高1) 27日 【高校】2年生登校日 28日 【高校】3年生登校日 29日 【中学】登校日

尚絅中学校 尚絅高等学校

6月1日(月)学校再開

新型コロナウイルス対策の休業要請の解除を受け、6月1日(月)に通常の登校時間で学校を再開しました。学校再開に当たり、文部科学省から出された「学校再開ガイドライン」等を参考に、マスク着用・手洗いや手指消毒・換気の徹底をはじめ、生徒下校後の全教室で手が触れる場所の消毒を行なうなど、教育活動のあらゆる場面でコロナウイルス感染防止対策を行っています。難聴の生徒に口の動きがわかるように透明マスクも導入しました。生徒たちは「3密」を避けながら、クラスメートとも距離を保ちながらの生活を実践しています。今後も、感染防止対策を継続しながら教育活動の充実に取り組みます。

休校期間中は、校内でZoomを使った教職員研修を実施しました。「オンライン留学」で、カナダとフィリピンの語学学校の授業を自宅で履修し英語力向上に取り組んだ生徒も複数おり、今後も継続してICTを活用した新しい教育方法を試行・検討していきます。



尚絅大学短期大学部 附属こども園

登園自粛期間

年度末から年度初めの行事については、中止または、消毒や会場の換気を行い縮小・短縮して行いました。

菊陽町からの登園自粛要請を受けて、本園でも4月15日から5月末まで家庭で保育が可能な方に対して、登園自粛をお願いしました。多数の方にご協力いただき、最少時には約300名中50名程度の登園にとどまりました。その間、スクールバスの運行を中止し給食の提供を一時期は行わずに、感染防止に努めました。



学校再開に合わせて

本学園では、飛沫による感染症予防対策として、学生ホール(学食)への仕切り板の設置や、生活彩家(コンビニエンスストア)のレジ前に透明ビニールを設置しました。

6月1日(月)に運行再開したシャトルバスでは、車内の消毒及び換気・手指消毒液の設置・運転手の体温管理・運行後にエタノールでの消毒作業を徹底しています。

学内の手指消毒液設置については、九品寺・武蔵ヶ丘の両キャンパス合わせて110ヶ所を完備しました。また、毎日夕方5時から教職員による学内一斉消毒作業を行い感染拡大防止に努めています。



「尚絅学園創立130周年記念募金」～教育・研究の施設、設備充実のための募金～の報告とお願ひ

寄附者芳名録

令和元年11月1日～令和2年5月31日現在

ご寄附をいただきました方々のご協力に感謝し、ご芳名を掲載させていただきます。

寄附金内訳					
個人・法人・企業等 4件 / ¥700,000		現役 役員・教職員 2件 / ¥300,000		6件 / ¥1,000,000	
卒業生・現役役員教職員・個人・法人・企業 (順不同)					
光多制服様	森下ひろ子様	坂田 敦子様	朝井 カメ様	朝井 良子様	高田 晶子様

「尚絅学園古本募金」

「尚絅学園古本募金」は、取引集荷・査定換金・募金送金の運営を「古本基金きしゃぽん」(運営:嵯峨野株式会社)に委託して実施しています。皆様からのご支援をお待ちしております。

尚絅学園古本募金状況について

令和元年10月1日～令和2年5月31日現在

ご寄附をいただきました方々のご協力に感謝し、寄附金状況をご報告させていただきます。

寄附金内訳		
個人・法人・企業等 9件 / ¥6,973	現役 役員・教職員 3件 / ¥2,356	合計 12件 / ¥9,329

〈WEBで申込む〉 尚絅学園 古本募金

Kishapon.com/shohei-gakuen/ (受付)24時間・365日

【お申込みと集荷について】電話またはWEBからお申込みいただけで、ご指定の時間にご自宅まで宅配業者が受け取りに伺います。

5冊(5点)以上であれば送料無料です。

〈電話で申込む〉 0120-29-7000

オペレーターに団体ID [172] とお伝えください。(受付)9時～18時・365日



学校法人尚絅学園 令和元年度決算の概要

1. 決算の概要

学校法人尚絅学園の令和元年度決算は、令和2年5月25日開催の理事会において承認・議決され、同日開催の評議員会に報告されました。また、監事及び監査法人の承認を得ております。以下、その内容についてご説明いたします。

(1) 資金収支計算書 資金収支計算書は、当該年度の教育研究活動に対応するすべての資金の収入及び支出の内容を明らかにして、支払資金の収入及び支出の額を明らかにしています。

資金収支計算書要約 平成31年4月1日から令和2年3月31日まで (単位:百万円)

資金収入の部	令和元年度	前年度	増減	資金支出の部	令和元年度	前年度	増減
学生生徒等納付金収入	1,364	1,418	△ 54	人件費支出	1,462	1,534	△ 72
手数料収入	24	20	4	教育研究経費支出	322	327	△ 5
寄付金収入	3	14	△ 11	管理経費支出	127	186	△ 59
補助金収入	652	760	△ 108	借入金等利息支出	0	0	0
資産運用収入	1	1	0	借入金等返済支出	0	0	0
資産売却収入	0	0	0	施設関係支出	423	52	371
事業収入	6	10	△ 4	設備関係支出	102	97	5
雑収入	65	65	0	資産運用支出	202	310	△ 108
借入金等収入	0	0	0	その他の支出	150	79	71
前受金収入	471	436	35	資金支出調整勘定	△ 67	△ 125	58
その他の収入	507	414	93	支出の部小計	2,721	2,460	261
資金収入調整勘定	△ 494	△ 555	61				
前年度繰越支払資金	987	865	122	次年度繰越支払資金	866	987	△ 121
収入の部合計	3,585	3,446	139	支出の部合計	3,585	3,446	139

資金収支計算書の収入の部において、学生生徒納付金収入は1,364百万円となり、前年度比54百万円減少しました。また、補助金収入として652百万円を計上し、前年度比108百万円減少しました。

支出の部では、人件費支出は1,462百万円であり、前年度比72百万円減少しました。教育研究経費支出は322百万円で前年度比5百万円減少、管理経費支出は127百万円で前年度比59百万円減少しました。管理経費支出における減少要因として、平成30年度は130周年の周年事業に係る経費を計上したことによる影響です。

また、施設関係支出は423百万円となり、前年度比371百万円増加しました。これは、九品寺キャンパス大学7号館の建設に着工し、建設仮勘定支出の増加413百万円が発生したことによるものです。以上の結果により、次年度繰越金は866百万円となり前年度比121百万円減少いたしました。

(2) 事業活動収支計算書 事業活動収支計算書は、当該年度の事業活動収入と事業活動支出の内容、収支状況を明らかにして、学校法人の経営状況が健全であるかどうかを示しています。

事業活動収支計算書要約 平成31年4月1日から令和2年3月31日まで (単位:百万円)

事業活動収入の部	令和元年度	事業活動支出の部	令和元年度
(教育活動収入計)	(2,114)	(教育活動支出計)	(2,313)
学生生徒等納付金	1,364	人件費	1,448
手数料	24	教育研究経費	698
寄付金	1	[内奨学費]	(80)
経常費等補助金	652	[内減価償却額]	(376)
付随事業収入	6	管理経費	168
雑収入	67	[内減価償却額]	(29)
(教育活動外収入計)	(1)	(教育活動外支出計)	(0)
受取利息・配当金	1	借入金等利息	0
(特別収入計)	(7)	(特別支出計)	(0)
現物寄付等	7	資産処分差額	0
事業活動収入計	2,122	事業活動支出計	2,313
		基本金組入前当年度収支差額	△ 191
		基本金組入額	△ 525
		当年度収支差額	△ 716

事業活動収支計算書の収入の部、支出の部については、資金収支計算書の収入の部、支出の部と同様の項目が多く含まれています。令和元年度の事業活動収支計算書における特徴的なものは、学生生徒等納付金及び経常費等補助金の減少を主要因とした事業活動収入が前年度比195百万円減少したことに対し、事業活動支出では予算作成時から10%の経費削減、さらに実績額で予算から9%の削減が図れたものの、対前年比107百万円の減少に留りました。

その結果、教育活動収支差額は△198百万円となり、前年比83百万円減少しました。同様に基本金組入前当年度収支差額は△191百万円となり、前年度比88百万円減少しました。



(3) 貸借対照表

貸借対照表は、一定時点(決算日)における資産、負債、基本金の内容と在高を明示して学校法人の財政状況を明らかにしています。

貸借対照表 令和2年3月31日

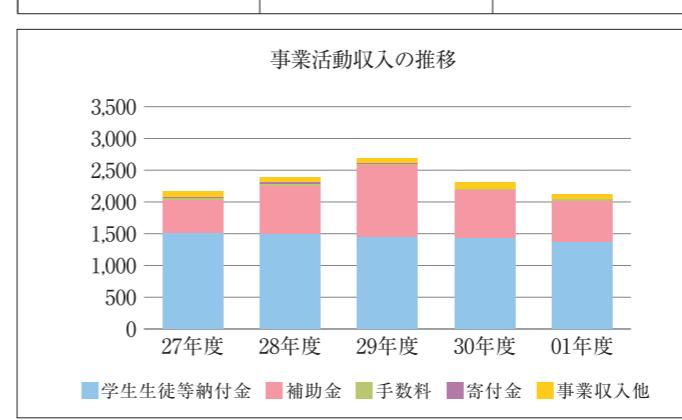
資産の部	(単位:百万円)			負債の部	(単位:百万円)		
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	9,745	9,814	△ 69	固定負債	582	608	△ 26
有形固定資産	8,037	7,922	115	長期借入金	200	200	0
土地	1,023	1,023	0	退職給与引当金	303	320	△ 17
建物	5,001	5,284	△ 283	長期未払金	79	87	△ 8
構築物	276	296	△ 20	流動負債	584	595	△ 11
教育研究用機器備品	350	346	4	短期借入金	0	0	0
管理用機器備品	38	45	△ 7	未払金	76	125	△ 49
図書	920	909	11	前受金	471	436	35
車両	15	19	△ 4	預り金	37	35	2
その他の固定資産	412	0	412	災害損失引当金	0	0	0
有価証券	1,709	1,892	△ 183	負債の部合計	1,166	1,203	△ 37
退職給与引当特定資産	20	20	0	純資産の部			
減価償却引当特定資産	550	550	0	科 目	本年度末	前年度末	増 減
施設設備引当特定資産	100	100	0	第1号基本金	14,119	13,595	524
第3号基本金引当特定資産	826	1,026	△ 200	第3号基本金	176	176	0
奨学寄付金引当特定資産	176	176	0	第4号基本金	148	148	0
その他	11	10	1	基本金の部合計	14,443	13,919	524
流動資産	946	1,106	△ 160	翌年度繰越支差額	△ 4,918	△ 4,202	△ 716
現金預金	866	987	△ 121	繰越支差額の部合計	△ 4,918	△ 4,202	△ 716
未収入金	58	105	△ 47	純資産の部合計	9,526	9,717	△ 191
有価証券	0	0	0	負債及び純資産の部合計			
仮払金他	22	15	7	科 目	本年度末	前年度末	増 減
資産の部合計	10,692	10,920	△ 228	負債及び純資産の部合計	10,692	10,920	△ 228

令和元年度末における固定資産(土地・建物・機器備品・特定資産他)と流動資産(現金預金・未収入金他)を合わせた資産の部合計は10,692百万円で、建物や教育研究用機器備品の償却に加え、九品寺キャンパス大学7号館建設に係る建設仮勘定413百万円等により、前年度末と比べて228百万円減少しました。

一方、長期借入金等の固定負債と短期借入金及び未払金等の流動負債の合計額は1,166百万円となり、前年度末と比べて37百万円減少しました。これは未払金の減少が主な要因です。

事業活動収支の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
学生生徒等納付金	1,504	1,482	1,443	1,418	1,364
経常費等補助金	532	770	1,144	760	652
手数料	26	23	23	20	24
寄付金	15	35	6	4	8
付随事業収入+雑収入	94	72	66	104	74
事業活動収入計	2,173	2,386	2,802	2,317	2,122
基本金組入額合計	△ 315	△ 25	△ 39	△ 75	△ 525
支出の部	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人件費	1,397	1,434	1,443	1,500	1,448
教育研究経費	717	1,528	733	696	698
管理経費	145	269	158	224	168
教育活動外支出	1	1	0	0	0
特別支出	0	0	4	0	0
事業活動支出計	2,260	3,232	2,338	2,420	2,313





2. 事業報告の概要

学校法人 尚絅学園

(1) 経営力の強化

- ①私立学校法の改正に伴い寄附行為を改定し、理事・監事・評議員の責任と権限を明確化、機能を強化。
- ②自主行動基準である尚絅大学・尚絅大学短期大学部ガバナンス・コードを策定。
- ③自己点検評価、学校評価、外部評価に基づく業務の改善状況について、PDCAサイクルが機能しているか点検を実施。
- ④人権・人格を尊重した規律ある職場の確立のため、ハラスマント委員会を運営するとともに、ハラスマント相談窓口をHP上でも公開して相談できる体制を確立。

(2) 強固な財務基盤の構築

- ①H30年度決算や大学7号館建設計画等を踏まえ、中期財務計画を一部変更。
- ②大学・短大・中高において学生生徒等納付金等の値上げを決定し、更に中高については就学支援金制度に対応した内訳の見直しを実施。
- ③尚絅学園創立130周年記念募金第1期(30/4~33/3)募集を継続した他、新たに古本募金を創設。
- ④R1年度予算について、概算要求に対し一律10%の削減を実施した結果、更に9%の経費削減を達成。

(3) 人材育成の強化

- ①働き方改革に対応すべく、契約教職員に関する規程の見直しを実施。

(4) 施設設備及び教育・研究環境の拡充

- ①改正健康増進法への対策として敷地内禁煙とし、特定屋外喫煙場所を設置。
- ②全教職員のパソコンを調査・管理し、ネットワーク不具合やウイルス感染等のインシデントに対応。
- ③九品寺・武蔵ヶ丘両キャンパスに防犯カメラを設置。

尚絅大学・尚絅大学短期大学部

(1) 教育と学修の充実

- ①自主学習や双方型授業の推進のため、ICT教育に関するFD研修会を実施。
- ②厳格な成績管理のため、大学等の修学支援制度に適応したGPA規程の制定を実施。

(2) 学生の確保

- ①ニーズに対応した体制の整備と多様な学生の確保を実現するため、幼児教育4年制課程(新学部)設置を決定し、具体的な検討・整備を実施。
- ②志願者・入学者増のため、入試区分及び入試科目の見直し、オープンキャンパス実施時期の前倒し、入試広報の強化、現代文化学部キャンパス移転の周知等を実施。

(3) 学修環境の整備

- ①前期終了時に疲労蓄積度調査・学生生活実態調査を実施し、学生に調査結果を公表。
- ②学生の保健室・カウンセラー室の利用状況を把握し、心身面でのサポートが必要な学生に対しては臨床心理士、養護教諭及び担当教員が連携し対応。

(4) 学生支援の充実

- ①学納金の免除・減額制度導入の検討を行うとともに、修学支援新制度に対応した各規程の改正を実施。
- ②学生寮(如蘭学寮)の設備を改善した他、寮費・寮費徴収方法を改定。
- ③就職支援活動の充実のため夏季キャリアガイダンスを開催し、今年度新たな試みとして「職種理解セミナー」を導入し6職種のブースを設置。

(5) 研究力の強化

- ①外部資金獲得のため科研費に関する説明会等を行った結果、科研費採択件数が大学8件(前期比5件増)、短大9件(前期比3件増)といずれも前期比増加。
- ②「尚絅食育の日」にて熊本の魚のPRや食育研究センターの活動報告等を実施し、学生の食生活状況の改善を検討。

(6) 社会連携の強化

- ①熊本市の食育推進事業に野菜レシピを提供した他、協定締結先の東海大学九州キャンパスと連携し、県内食品会社の協力も得て地元食材を活かした弁当を開発、販売。
- ②大学コンソーシアム熊本を活用したプラットフォーム事業に取組み、私立大学等改革総合支援事業に選定。

(7) 国際交流の体制整備と拡充

- ①全学的なグローバル化推進を図るため、グローバル化推進センター及びグローバル化推進センター事務室を設置し、国際交流委員会の代わりにグローバル化推進委員会を設置。
- ②新たな海外の教育機関との連携として、韓国(済州大学校)との交流協定に双方合意。

(8) IR機能強化と自己点検・評価への適切な対応

- ①自己点検・評価の結果に関する評価等を受けるため、外部評価委員会を設置し、第1回外部評価委員会を開催。

尚絅中学・高等学校

(1) 特色ある教育の確立

- ①グローバル教育の充実として、フランスからの留学生受入、オーストラリア・フィリピン等への短期留学、海外姉妹校・交流校訪問による交流活動推進を実施。
- ②ICT教育の充実のため、各科目でDVDとプロジェクターを積極的に活用した他、タブレットを使用した授業を導入。
- ③中高大連携の強化として、高大連携授業や大学授業体験等を実施した他、中高大職員の合同研修を実施。

(2) 教育の質向上

- ①礼法教育の推進として、高校2年生全員がマナー検定上級に合格。
- ②特別活動の充実として、熊本城マラソンボランティアに約100名の生徒が参加。

(3) 生徒支援の確立

- ①生徒会執行部を中心とした学校行事を実施した他、生徒会による部活動の昇格決定や校内外のボランティア活動の再検討及び活動範囲拡大を実施。
- ②教育相談充実のため、生徒との個人面談やスクールカウンセラーを開む保護者との座談会を実施。

(4) 地域貢献の充実

- ①部活動等において長期休暇等を利用した合宿・遠征試合、県内外の合同練成会の実施。
- ②ボランティア活動として、全校生徒で「フードバンク熊本」に参加。

(5) 学習意欲あふれる生徒の確保

- ①広報活動の充実を図るために、ホームページの充実、広報部の強化、小学校・中学校・学習塾への個別訪問を強化。
- ②中学校入試において、英語入試を選択制で導入。

(6) 学校評価

- ①生徒・保護者対象の学校評価アンケートを実施。
- ②内部評価委員及び学校評価委員による評価については、令和2年度に実施予定。

尚絅大学短期大学部附属こども園

(1) 教育・保育内容の改革と尚絅らしさの追求

- ①食育活動の一環として、園児が積極的にサツマイモ、トマト等の栽培と収穫活動を実施。
- ②園児の確保
 - ①HP上の「お知らせ」欄を年間約120回更新し、園児の活動の様子を広報。
 - ②園児の写真を用いたフォトムービーを作成して保護者説明会で上映。
- ③子育て支援の充実
 - ①地域の療育施設の方を招へいし保護者対象に発達相談会を実施した他、町教委の管理職とも定期的に会合を実施。
 - ②子育て支援室「どんぐりルーム」の当日参加も可とすることで利用システムを改善。

(4) 教育・保育の指導力向上

- ①特別支援教育研修として、療育施設や専門家・実践家と連携し療育を学ぶことで、教育・保育に活用。
- ②実習生指導計画案について、実習委員会や子ども園運営委員会において内容を検討。

(5) 地域連携の拡充

- ①地域老人会に美化活動、餅つき、昔遊び等に参加してもらい、地域連携を強化。
- ②武蔵ヶ丘中学校区幼・保・小中連絡協議会を通じての連携事業を継続的に実施。
- ③菊陽町と幼児教育無償化に伴う連絡会を実施。

(6) 学校評価の充実と活用

- ①保護者アンケートを「学校関係者評価」として実施し、結果を保護者に文書で周知。



令和2年度 学校法人尚絅学園事業計画書

I. はじめに

尚絅学園は平成25年度に学園の将来計画である「長期ビジョン(将来像)と中長期行動計画」を制定し、その後、平成27年度、平成29年度、令和元年度と計3回の改定を行なって、学園の将来像実現に向け取り組んでまいりました。

そういう中、昨年度は学校教育法・私立学校法の改正、高等教育無償化、初等・中等教育における新学習指導要領や2040年に向けた高等教育のグランドデザイン等が示され、学園を取り巻く環境が大きく変化するとともに、その対応に追われる年になりました。

今年度は「建学の精神」「教育理念」を遵守しつつ、「長期ビジョンと中長期行動計画」のもと事業計画の着実な取り組みに努め、学園の持続的な発展に向けて、教学と管理・運営全般に亘る改革を一つひとつ実現させてまいります。

II. 主な施策

1. 学園全体・学校法人

本学園が教育研究機関として社会の要請に応え、学生生徒等が充実した快適な学校生活を送るために、経営力の強化、強固な財務基盤の構築、人材育成の強化、施設設備及び教育・研究環境の拡充が必要不可欠です。

○経営力の強化

規律と誠実性を維持しつつ、学園を取り巻く環境変化に迅速に対応すべく、ガバナンス機能・組織マネジメントを強化し、更なる組織力の結集に努めます。

○強固な財務基盤の構築

収支バランスの不均衡解消に向け、強固な財務基盤の確立が喫緊の課題となっています。

学生生徒等の定員未充足の解消や学生生徒等納付金見直し後の課題抽出、補助金等の確実な獲得や部門別収支状況に基づく収支改善及び経費支出の厳正な管理により、適正な収支バランス確保に注力してまいります。

○人材育成の強化

学園・設置校に有為かつ適正な人員を確保しつつ、多様化する学生・生徒等へ適切かつ的確な対応ができる人材育成を強化してまいります。

○施設設備及び教育・研究環境の拡充

特に、人材育成計画の構築と有効性のある研修体制の確立に取組むことで、教職員一人ひとりの資質・能力向上と職能開発の促進に努めます。

2. 尚絅大学・尚絅大学短期大学部

2020年度は、「長期ビジョンと中長期行動計画」に則り、学園の持続的な発展に向けての具体的な施策を立案し、着実に実施して参ります。

○本学の課題である入学定員の確保

若干改善されつつありますが、継続できるように努めなければなりません。そのために、学生や高校生、社会のニーズを汲み上げながら、ニーズに応じた体制の整備と多様な学生の確保に努めるとともに、各学部・学科の独自性を生かした魅力度アップに取り組み、コロナウイルス感染防止対策も考慮した戦略的な広報活動を迅速に展開し、高大連携については協力体制を強化しながら、学生確保に尽力します。教育と学修においては、教育の質の転換による教育改革の推進とともに、コロナウイルス感染防止対応した遠隔授業を含めた学修環境の整備に取り組み、新たに設置されたグローバル化推進センターの活動を展開します。また、現代文化学部の九品寺キャンパスへの移転については予定どおり年度内に実施し、こども教育学部(仮称)の設置については、設置準備委員会を中心に作業を進め、年度内に設置認可申請書を提出する計画です。

○学生支援

学修支援センター、就職・進路支援センターや学生支援委員会等の活動を一層充実させ、特にコロナウイルスの影響を考慮した就職指導を強化し、学生の満足度向上に努めます。研究については、研究環境の整備と産学官の連携に基づく共同研究の推進、外部資金の獲得及び研究倫理の遵守に取り組みます。社会連携に関しては、尚絅食育研究センター、尚絅子育て研究センター、尚絅ボランティア支援センターの活動を活性化するとともに、尚絅地域連携推進センターの機能強化を図り、社会的貢献の諸活動を推進し、本学の地域社会での存在感を高めます。また、生活科学部・食物栄養学科・幼児教育学科と附属こども園の教職員を中心に担われている尚絅食育推進プロジェクトにおいては、組織の充実を図りながらさらに研究活動を推進し、研究成果を発信します。

○IR及び自己点検

大学内外のデータの収集分析に努めて大学の適切な運営を支え、第3期に入った認証評価における内部質保証の課題に適切に対応できるよう、外部評価を含めた点検評価を実施します。

3. 尚絅中学・高等学校

令和2年度は令和4年度(2022年度)から年次進行で実施される新学習指導要領を視野に入れて検討した平成31年度(2019年度)の計画を再検討し、さらなる事業内容の充実と新しい事業の取り組みを以下のように策定しました。

○特色ある教育の確立

「建学の精神」「教育理念」を基に、魅力ある授業や学校行事等を通して知識・技能・思考力等のバランスの取れた生徒の育成に努めると共に、新学習指導要領の内容を踏まえ、学力向上及び授業改革に取り組みます。また、德育・情操教育・女子教育の充実を図り、社会的・職業的自立に向けて必要な能力が身につく取り組みを行い、グローバルな社会で活躍できる人材を育成するために生徒の国際交流の活性化を推進します。

○教育の質向上

生徒に「何ができるようになるか」という具体的な目的を明確に示すことにより「何のために学ぶのか」という学習の意義を生徒が自ら考えるような授業展開を行います。その為に新学習指導要領に対応したカリキュラムを確立するとともに、タブレットを用いた授業内容や教育活動の質の向上のためのプログラム作成、また、今後、コロナウイルス感染症の更なる流行なども考慮に入れ、オンライン学習の研究を深め、新しい生活様式を取り入れながら学校行事や課外活動、広報活動に取り組みます。また、キャリア教育の充実に努め、職業観の育成や職業人に求められる倫理観の育成を図ります。

○生徒支援の確立

令和2年度から改正される就学支援金制度の内容を視野に入れて、生徒が安心して学べるように経済的に就学困難な生徒への各種制度を充実させると共に、育友会・同窓会・後援会との連携を一層深めて生徒の日常の学業・課外活動等の支援体制を整えます。

○地域貢献の充実

社会のニーズに応じて環境活動や地域社会に積極的に参加できる人材を育成すると共に、地域に開かれた学校として学校の特色を活かした地域の行事の参加、ボランティア活動、及び各種大会を主催して地域への活性化に貢献します。

○学習意欲あふれる生徒の確保

女子の総合学園として大学への内部進学を希望する生徒を募集する事に心掛けながら、様々な生徒を広く受け入れるためにコース毎の魅力を再構築します。また、特待生制度を更に充実させて、県下一円の地区から幅広く志願者を募ります。公立小学校・中学校に加えて学習塾や地域、保護者広報部との連携を深め、広報活動の充実を図ります。

○学校評価

学校評価の意義と目的を全職員が理解して、学校運